冬の花芽

美しい花を咲かせ、果実をならせる花木、果樹類の花芽は、例外はありますが、ほとんど昨年の夏頃を中心としてでき始めます。花芽の分化といいますが、その頃から発育をつづけ、完成した花芽としてこの冬を越しています。

ウメ、モモなどは徒長枝を除くほとんど全枝の葉のつけ根に花芽ができており、ツツジ類やコブシ、モクレンは枝の先端に花芽をつけ、それぞれその位置で開花します。アジサイ、オオデマリなどは同じく枝の先端部分に花芽ができていますが、春に新梢をのばして、その先端に花を開きます。このように冬の間に花芽をもつのが多いのですが、サルスベリ、ムクゲは花芽がなく、春にのびた枝の先端や葉腋に花芽を分化して年内に開花します。ですから、芽が動き出すまでに枝を切りつめても心配はいりません。種類による花芽のつき方をよく調べて、剪定する場合には注意が必要です。

家庭園芸

ご相談は 園芸センター（☎86−1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

くらしのレポーター 多彩な活躍

市民に情報を提供

冷凍食品の調理実習をするレポーターの皆さん

消費者行政の一環としてくらしの監視員（昨年十月からくらしのレポーターに名称変更）制度を設けてすでに四年。

消費生活上の知識の普及を図りながら、価格調査や試買調査を実施するなど、賢い消費者として種々活動を行っています。

この制度は、石油危機以来資源の制約、物価の高騰など、消費生活をめぐる新しい問題の発生、商品の多様化、販売競争の激化などによって生ずる弊害から、消費者の安全と権利を守るため設けているものです。

また、消費者保護行政を進めるうえに大切な分野であり、特に日常家庭をあずかる主婦、あるいは将来社会や家庭に入る若い人から、消費生活に関する意見・要望を聞くとともに、消費生活上の各種の知識の普及を図っています。

行動する消費者に

そして、不当行為に対する情報連絡、生活関連物資等の価格調査などを実施し監視体制を強化する一方、これらの情報を市民に提供することにより、正しい権利意識をもって自ら行動する消費者づくりを目標として、よりよい市民生活の実現に努めています。

昨年四月から委嘱されているくらしのレポーター百人は、砂糖、卵など十七品目における価格調査や冷凍食品の試買調査、商品比較テストを実施。

さらに産地見学会や石油問題、消費者物価、一般消費税を中心とした「これからの経済と消費生活」と題しての講演会を開くなど、活発に活動を行っています。

「今回初めてくらしのレポーターを経験して、とても勉強になりました」という**内藤滋子**さん（松浜四）は「毎月、価格調査をしていて、原油の値上がりがサランラップや合成洗剤の値上がりとすぐ結びつくことや、訪問販売についての注意、クーリング・オフ制度などいろいろ知ることができ、政治や経済問題なども身近に感じるようになりました」——とのこと。

また、**根立美穂子**さん（文京町）は「くらしの監視員というと、いかめしい感じがしますが、いろいろと活動してみると、主婦の立場においての消費者意識を高められた点、とても有意義な一年間でした。受け身で弱い立場の消費者ですが、たくさんの方がレポーターを経験して、新しい活動に結びついていけたらすばらしいと思います」——と感想を述べてくれました。

今年度のレポーターを募集

今年度のくらしのレポーターを募集しますのでどうぞご応募ください。

募集人員 百人

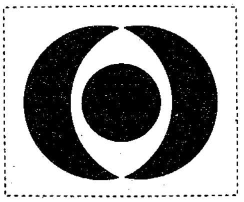
任期 昭和五十五年四月一日から昭和五十六年三月三十一日まで

対象 市内に居住する十八歳以上の婦人で、消費生活の改善、向上に熱意のある方

報酬 年額一万五千六百円の予定

主な仕事 ①不当商行為等に対する情報連絡②生活関連物資等の価格調査③商品の試買調査比較テスト④懇談会、研修会等への出席⑤その他、市が開催する会議、調査の協力

応募方法 三月十五日までに住所、氏名、年齢、職業、電話番号をはがきに記入のうえ、市役所生活課（西堀通六−八六六）までお申し込みください。



シンボルマーク決まる

〜きれいなまちづくり運動実行委員会〜

昨年十一月いっぱいまで募集していた、「きれいなまちづくり運動実行委員会」のシンボルマークが決まりました。＝図＝

応募件数は、三十二件でこのなかから**加藤美弥子**さん（内野町）の作品が優秀賞に選ばれたものです。

この図案は「CLEAN・CAMPAIGN（クリーンキャンペーン）の頭文字CとCを空の青と草木の緑で表わし、まん中の赤い丸は、住民の運動の団結を表わす」——とのことです。

なお、準優秀賞には**樋口隆太郎**さん（関屋田町）と**扇谷芳憲**さん（上大川前通十二）の作品が選ばれました。

新入学児童の入学通知書を発送

新入学のお子さんをお持ちのお父さん、お母さん、おめでとうございます。いよいよ皆さんのお子さんもこの四月から入学です。

市教育委員会では、一月二十一日付で保護者の皆さんへ入学通知書を発送しました。

今年、小学校へ入学するお子さんは、昭和四十八年四月二日から昭和四十九年四月一日までの間に生まれた方です。入学についての心得などは入学する学校から詳しくお知らせすることになっていますが、入学通知書のお問い合わせは、市学校指導課、市民課、または地区事務所へお願いします。

また、入学通知書の住所は住民登録にもとづく住所ですから、〇〇アパート内、〇〇方等、詳しい表示がない場合、通知書が返送されることもあります。これらについては調査のうえ、再発送いたしますが、一月末日までに届かない場合や就学に関する相談は学校指導課（上大川前通八開公ビル、☎25−一〇〇〇か☎24−三〇九八）へお願いします。

なお、外国籍のお子さんをお持ちのご父兄で、市立小学校へ入学を希望される方で未手続の方も、学校指導課へご連絡ください。

※市教育委員会（開公ビル）には駐車場はありませんので、やむをえず自家用車を利用される方は、本庁立体駐車場をご利用ください。

講座 〝職場の人間関係〟

職場の人間関係で悩んでいる方、一緒に学びあいませんか？

期間 二月十三日〜三月十九日毎週水曜日（計六回）

時間 午後六時半〜八時半

会場 中央公民館

定員 成人三十人

申し込み 二月二日までに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、返信用封筒（五十円切手貼付）を同封のうえ、中央公民館「職場の人間関係」係（西堀通六）へ。

月日	内容	講師
2／13	個人と組織の関係とその位置づけについて	新潟交通企画課長 石川寛
2／20	個人が組織との関わりの中で成長するために——個の活用 組織の活用〈事例研究〉	〃 石川寛
2／27	仕事と人生の位置づけについて（パネル討論）	
3／5	愛することと愛されること（I）—人間関係の原点にすえた場合〈事例研究〉	新電社取締役総務部長 見崎義昭
3／12	〃 （II）	見崎義昭
3／19	豊かな人生を送るためのライフワークについて	

ヘラ彫金講習会

〜あなたもヘラ彫金にチャレンジしてみませんか〜

製作物 壁かけ

期間 二月七日〜三月二十七日毎週木曜日（計七回）

時間 午後六時半〜八時半

会場 中央公民館

定員 青年三十人（先着順）

経費 四百円程度（材料費）

講師 石山恵美子・石山えつ子

申し込み 二月二日までに電話で中央公民館青少年係（☎23−七〇七〇）へ。

美術サロン

〜人物デッサン〜

日時 二月三日午前十時〜午後三時

会場 中央公民館五階ホール

会費 五百円（モデル代）

申し込み 電話で中央公民館美術サロン係（☎23−七〇七〇）へ。

住宅金融公庫 個人住宅建設資金の申し込み 〜明日から〜

受付期間 1月28日〜2月27日

選定方法 先着順により無抽選で選定

融資額 木造住宅(80㎡以上)の場会360万円〜380万円。断熱構造化工事を行った場合10〜30万円の融資額の加算および老人(65歳以上)等が同居する場合40万円〜80万円の融資額の割増し制度があります。

利率 年5.5％

返済期間 木造の場合25年以内

申込場所・問い合わせ「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関

山の下紙人形教室

日時 1月31日〜2月21日毎週木曜日計4回、午前10時〜正午

会場 中地区公民館

材料費 1回1,000円程度（実費）

持参品 タオル、エプロン、ものさし、はさみ

定員 20人

申し込み 1月29日までに、電話で中地区公民館（☎71−0017）へ

第1回 小学校会唱クラブ交歓会（無料）

市内の小学校合唱クラブが日ごろの練習を発表し交歓します。

日時 2月3日午後1時半開演

会場 音楽文化会館

出演 新通小、坂井輪小、小針小、入舟小、東山の下小、南万代小、市児童合唱団

主催 市小学校合唱指導研究会、音楽文化会館

不用品交換会

日時 委託品受付…1月31日、2月1日午前10時半〜午後3時半、交換日…2月2・3日午前10時半〜午後3時

会場 大和デパート2階「であいの広場」

取扱品 贈答品、その他、不用の新品(大型商品、生鮮食品、日時指定の品は除く)

問い合わせ 大和デパート(☎28−1111、内線351)へ

主催 市消費者協会

火焔土器展

子供のための考古学講座（小学生用）

日時 2月9日午後1時半〜

会場 県民会館第1会議室

参加費 10円

定員 30人（先着順）

申し込み 往復はがきで県美術博物館、学芸課（一番通町3−1）へ

あしながおじさん募集

交通遺児をあなたの〝教育養子〟にしてください。毎月そっと奨学金を援助してやってほしいのです。個人でもグループでも団体でも会社でも結構です。

「あしながおじさん奨学金」は、①月1.5万円×12月×3年（高校生）②月3万円×12月×4年(大学生)③金額1.5万円以下、期間不定の〝短足オバサン〟でも結構です。

申し込み、問い合わせ 電話かハガキで財団法人交通遺児育英会（〒100、東京都千代田区永田町1−11−28(☎03−581−2271）へ

また、交通遺児育英会では、高校奨学生の予約生を募集しています。これは、公立高校生に月額1万5千円、私立高校生には月2万円、大学生には月2万円または3万円の奨学金を貸与（20年割賦返済無利子）するものです。